

# 長野県JAバンクの地域密着型金融の 取組状況について(平成26年度)



平成27年12月

---

◇長野県JAバンク（長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成25～27年度長野県JAバンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

◇平成26年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

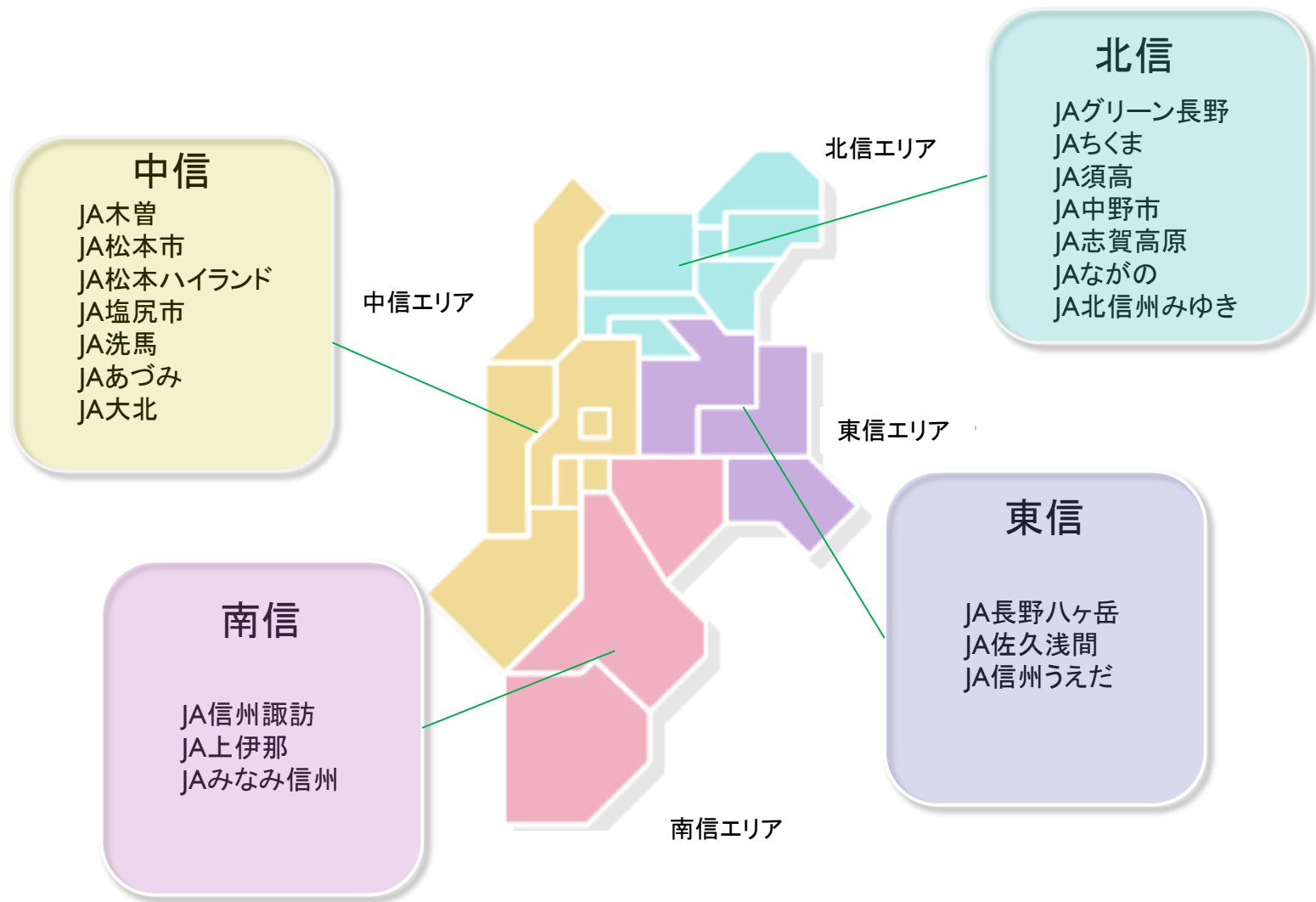


©ちよリス



# 長野県内JA

(平成27年3月末 時点)



# 【目次】

---

- ◇ I 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援  
（長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み） … 4
  
- ◇ II 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供 … 15
  
- ◇ III 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … 24

# I .農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

農業融資商品の適切な開発・提供

担い手のニーズに応えるための体制整備

セミナー・イベント等の開催・参加

## 農業融資商品の適切な開発・提供①

- ◇長野県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- ◇平成27年3月末時点の長野県JAバンクの農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は482億円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は128億円を取り扱っています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) 長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

## 農業融資商品の適切な開発・提供②

### 【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

	27年3月末現在
農業	39,431
穀作	2,321
野菜・園芸	20,420
果樹・樹園農業	2,841
工芸作物	5
養豚・肉牛・酪農	2,287
養鶏・鶏卵	143
養蚕	3
その他農業	11,412
農業関連団体等	8,780
合計	48,211

(注)

1. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
2. 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

# 農業融資商品の適切な開発・提供③

## 【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

種類	27年3月末現在
プロパー資金	38,480
農業制度資金	9,731
農業近代化資金	5,492
その他制度資金	4,238
合計	48,211

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

## 【農業資金の受託貸付金残高】

種類	27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	12,875
その他	0
合計	12,875

(注)

長野県JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

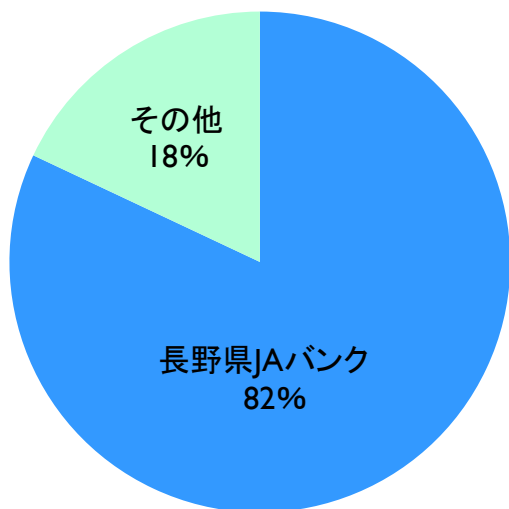


## 農業融資商品の適切な開発・提供④

- ◇長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて県内トップシェア(公庫直貸を除く)となっています。

### 【農業近代化資金 融資残高シェア】

(県内比)

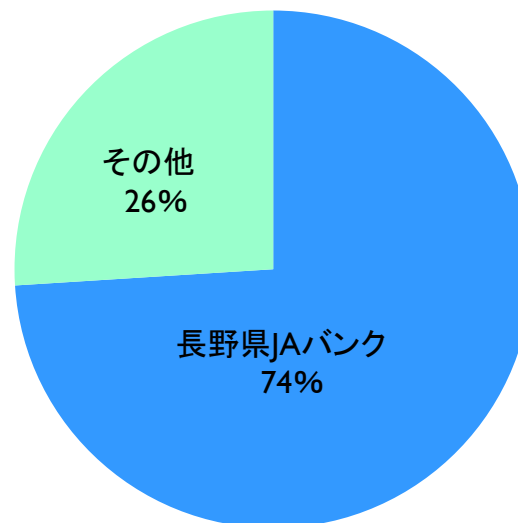


(平成26年12月末時点)

数値提供: 長野県農政部農村振興課

### 【公庫受託貸付 融資残高シェア】

(県内比)

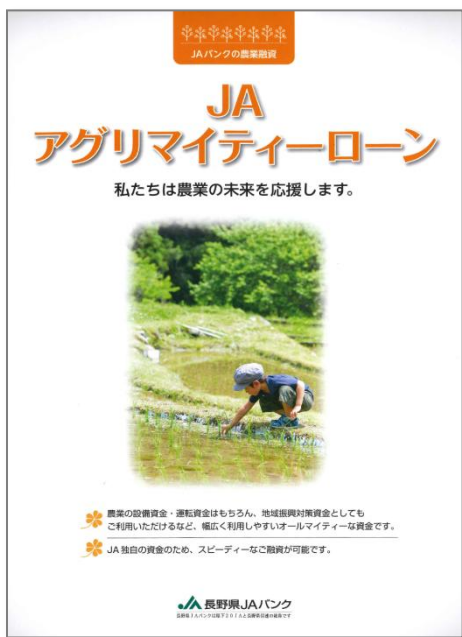


(平成27年3月末時点)

数値提供: 日本政策金融公庫

# 農業融資商品の適切な開発・提供⑤


- ◇長野県JAバンクでは、農業者からのニーズに対応するため各種農業資金をご用意しております。
- ◇主力商品である「**JAアグリマイティーローン**・**JA農機ハウスローン**」は多くの農業者にご利用いただいております。
- ◇引き続き農業者のニーズの適切な把握に努め、商品力の拡充に取り組み、長野県の農業をバックアップしていきます。



JAバンクの農業融資

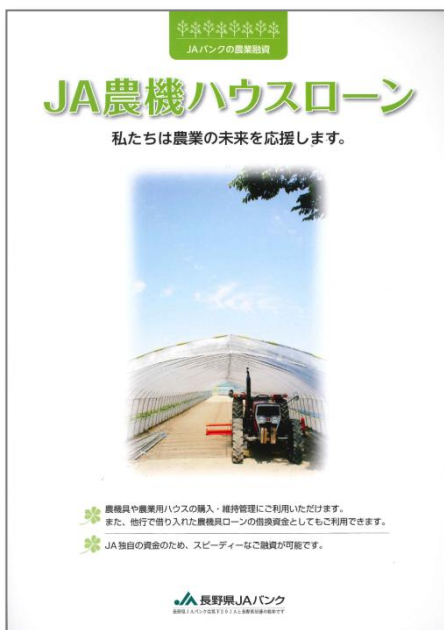
## JA アグリマイティーローン

私たちは農業の未来を応援します。



農業の設備資金・運転資金はもちろん、地域振興対策資金としてもご利用いただけるなど、幅広く利用しやすいオールマイティーな資金です。  
JA独自の資金のため、スピーディーなご融資が可能です。

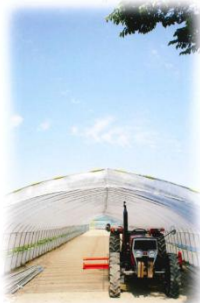
長野県JAバンク



JAバンクの農業融資

## JA農機ハウスローン

私たちは農業の未来を応援します。



農機具や農業用ハウスの購入・維持管理にご利用いただけます。  
また、他行で借り入れた農機具ローンの借換資金としてもご利用できます。  
JA独自の資金のため、スピーディーなご融資が可能です。

長野県JAバンク



JAバンクの農業融資

## 農業資金のご案内

私たちは農業の未来を応援します。



【JAの貸出金】  
JAアグリマイティーローン  
JA農機ハウスローン  
JA農業経営ローン付たか  
JA新規就農応援資金

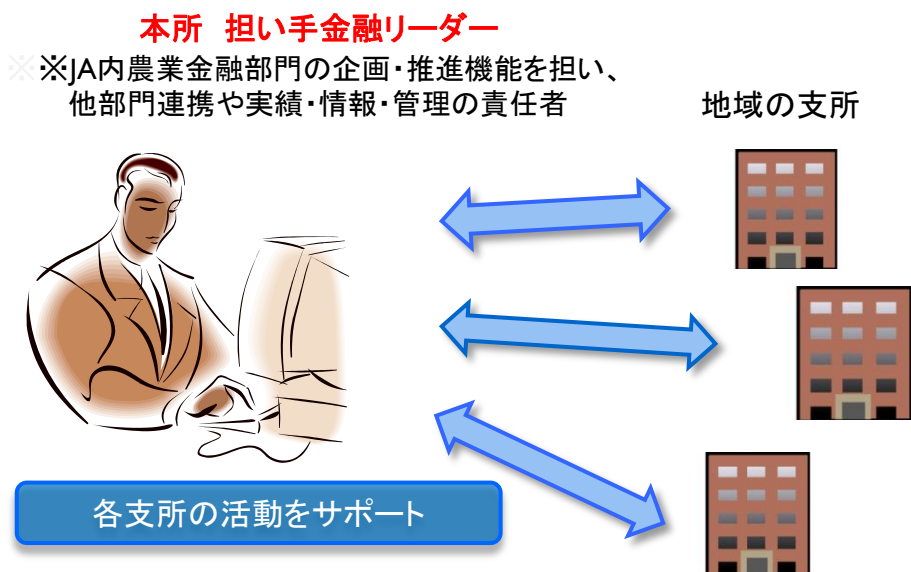
【制度資金】  
農業近代化資金  
農業経営基盤強化資金  
青年等就農資金

【各種支援制度】  
JAバンク利子補給  
アグリシードファンド  
新規就農支援事業

長野県JAバンク

# 担い手のニーズに応えるための体制整備①

- ◇長野県JAバンクでは、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- ◇JAの金融担当者は、営農・経済担当者からお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。  
県内20JAの本所には35人の「※担い手金融リーダー」が設置され、支所の活動をサポートしています。
- ◇信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。



支所⇄本所⇄県域が常に連携

安心してお近くの支所へ  
ご相談ください！！

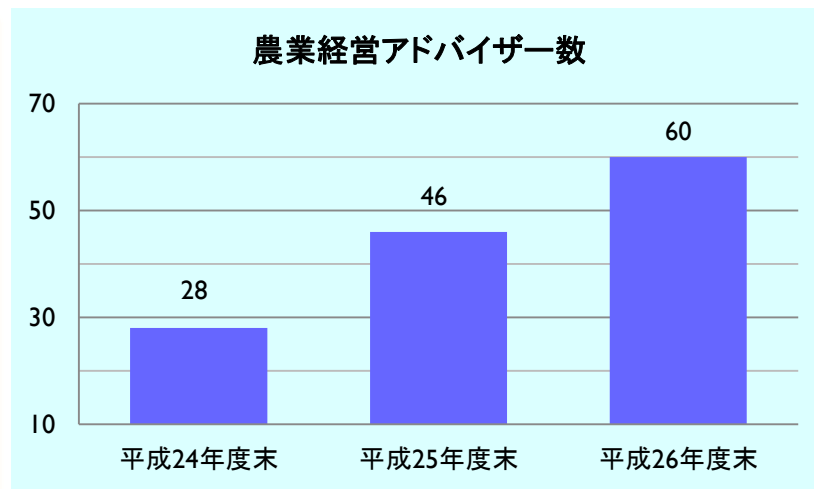
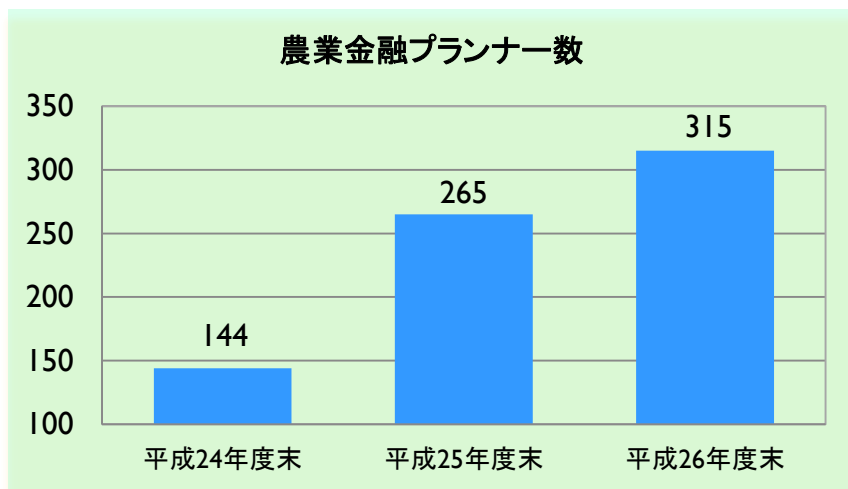
## 担い手のニーズに応えるための体制整備②

◇ 農業融資担当者の資金相談・経営相談等に関する知識・ノウハウの一層の充実をはかり、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的に、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。

◇ 平成26年度末において、長野県JAバンクでは  
**315名**の「JAバンク農業金融プランナー」(注1) と**60名**の「農業経営アドバイザー」(注2) が誕生しています。

(注1) 農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

(注2) 農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年度に創設した資格制度です。



# セミナー・講演会の開催 【長野県JAバンク主催 平成27年1月20日】

講演会・セミナー名	若手農業者向け金融セミナー
対象参加者	若手担い手農業者
参加者数	105名
内容	① 金融セミナー ② 農作物のブランド戦略に対する講演会 ③ 若手農業者とJAバンクとの接点づくり
参加者の声	全体を通して ①金融セミナー わかりやすかった (80%) ②講演会 参考になった (95%)
	①金融セミナー 「農業資金について知らないことが多くよかった。」  ②講演会 「刺激になった。」 「農業経営者としてのあるべき考え方に気づかされた。」 「農業経営者の視点からの話が珍しく参考になった。」
長野県JAバンクの対応	・参加者のうち、今後JAからの農業資金の借入を希望している方について担当JAへ情報提供を行いました。 ・参加者から提案された、今後取り上げてほしいテーマについても次回以降検討しています。



長野県信連農業部から農業資金等の説明風景



農作物のブランド戦略に対する講演会  
こと京都(株) 代表取締役 山田敏之氏

# 農機&資材フェスタへの参加

フェスタ名	JA農機&資材フェスタ2014
開催日	平成26年7月18日～19日
主催者	全農長野県本部
参加内容	<p><b>農業資金・ボーナスキャンペーンのPR</b></p> <p>① 会場内における推進資材等の配布                  ② 長野県JAバンクのブースを設置  <b>来場者に対する農業資金の相談会</b></p>
相談内容について	<p>・新規就農をするにあたって利用可能な資金について知りたい。                  ・太陽光発電設備の導入にかかる資金の概要を教えてください。</p> <p><u>など、来場した農業者のお話を伺い、許可を頂いた方については担当JAへ情報提供を行いました。</u></p>



長野県信連農業部による農業資金の借入相談会

## Ⅱ.経営の将来性を見極める融資手法を始め、 担い手に適した資金供給手法の提供

◇長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

経営不振農業者の経営改善支援

負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

動産担保を活用した農業融資の活用

農業融資への利子助成の実施

農業法人向け資本供与

# 経営不振農業者の経営改善支援

◇長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

## 【平成26年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】（単位：先数）

		期初経営改善支援取組先 A			再生計画 策定率 =a/A	ランクアップ 率 =b/A
		Aのうち 再生計 画を策 定した先 数 a	Aのうち 期末に 債務者 区分がラ ンクアッ プした先 数 b	Aのうち 期末に 債務者 区分が 変化しな かった先 数 c		
正常先①		59	19	59	32.2%	
要 注 意 先	うちその他 要注意先②	84	42	7	50.0%	8.3%
	うち要管理先③	5	3	0	60.0%	0.0%
破綻懸念先④		57	21	5	36.8%	8.8%
実質破綻先⑤		29	12	3	41.4%	10.3%
破綻先⑥		1	0	0	0.0%	0.0
小計 (②～⑥)の 計		176	78	15	44.3%	8.5%
合計		235	97	15	41.3%	6.4%



# 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

◇長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

## 【平成26年度負債整理資金の貸出実績】 (単位:件,百万円)

資金名	平成26年度 実行		平成27年3月末残高
	件数	金額	
農業経営負担軽減支援資金	0	0	132
農家負担軽減支援特別資金	0	0	3
畜産特別支援資金	1	8	219
畜産経営維持緊急支援資金	0	0	497
農業資金(負債整理型)	1	11	29
農家負債整理資金	0	0	96
その他	1	1	641
合計	3	20	1,617

### 【農業経営負担軽減支援資金】

営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

### 【畜産特別資金等】

過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

# 動産担保を活用した農業融資の活用

- ◇長野県JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。
- ◇長野県における融資の実績は次表のとおりです。

## 【長野県における平成26年度活用実績】

(単位:件, 百万円)

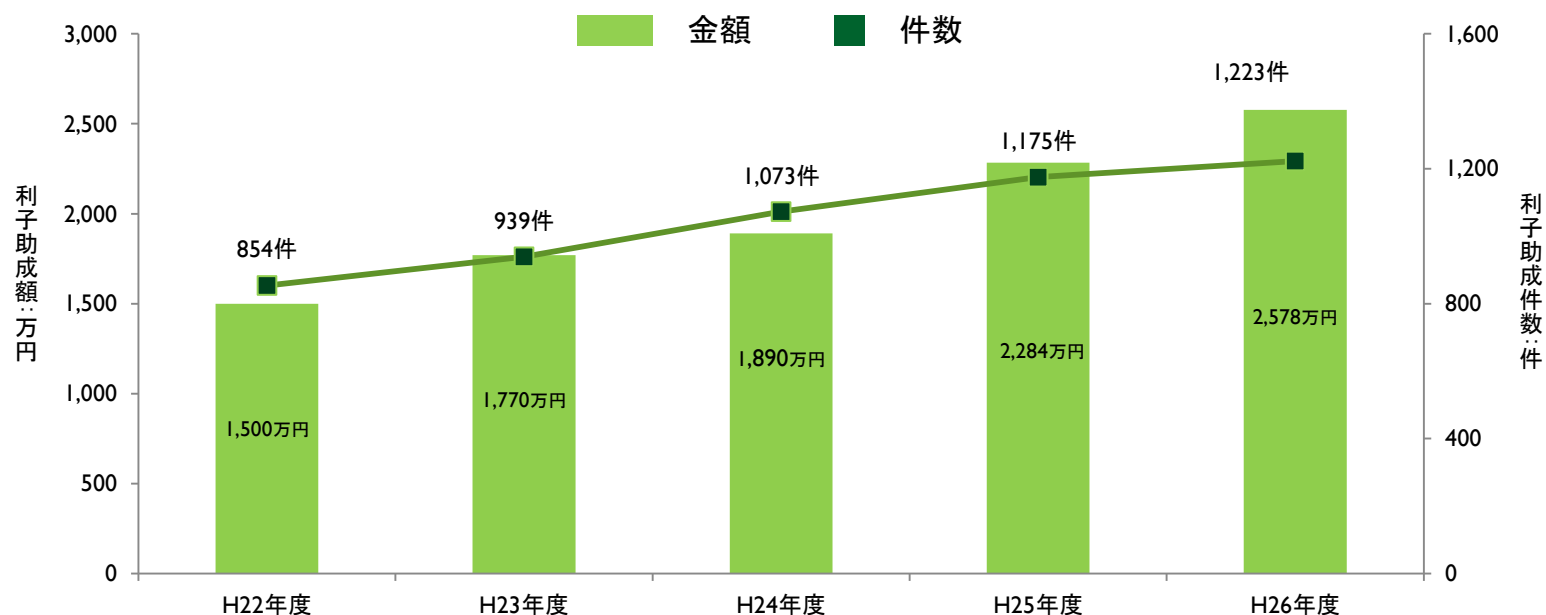
種類	件数	残高	内容
農産物	0	0	
畜産物	3	2	肉用牛
機械設備	7	98	農業者の再生可能エネルギー事業支援 ハウス、菌かきライン、多軸穴あけ機等
合計	10	100	

# 農業融資への利子助成の実施

- ◇ 農業者に対する、JA農機ハウスローン・JAアグリマイティーローン・農業近代化資金等の融資について、農業振興等に貢献するために創設された「JAバンクアグリ・エコサポート基金」が最大1%の利子助成を行い、担い手をサポートしています。

※平成27年1月以降【JAバンク利子補給】へ移行。

## 【利子助成実績推移(長野県取組実績)】



# 農業法人向け資本供与①

◇平成22年度より、アグリビジネス投資育成株式会社の農業法人に対する資本供与の枠組みである「アグリシードファンド」の活用に取り組んでおり、これまでの成約実績は6件・49百万円となっております。

## 【アグリシードファンド活用実績】

(単位: 件, 百万円)

アグリシードファンド活用	
平成26年度 実行件数	2
平成26年度 出資金額	14
平成27年3月末 出資金残高	49

**農業法人のみなさまへ**

### アグリシードファンド

新たな農業法人投資育成の枠組みのご案内

- JAバンクでは、農業法人投資育成制度を実施するアグリビジネス投資育成株式会社（以下、アグリ社）と連携し、農業法人のみなさまにとってより活用しやすい資本ご提供（譲渡株のない資本※1、※2）の枠組みを新設いたしました。
- 以下の基準に該当されるお客様は、アグリ社による投資育成制度を活用し、自己資本を増強することが可能です。（ただし、アグリ社による個別審査があります。※3、※4）

**基本的な条件**

- 農業法人もしくは農業に關する事業を営む法人であること
- 会計は専任簿記により行っていること
- 計算書類を年に1回以上作成していること など (※5)

このほか、多額に引き上げられた条件が追加されます。

①申請内容内での事業一貫性に資するもの（アグリシードファンド） 為めの条件（全て該当）

- 最近の年度において継続して営業していること（※6）
- 経営者は過去5年連続で営業していること
- 経営者が農業関連事業に専従していること
- 金融機関からの融資は当期要件より多い額であること（当期要件より多くても、現時点において計画的に返済が行われていること）

②申請内容内でも事業一貫性に資するものの条件（全て該当）

- 最近の年度において継続して営業していること
- 経営者は過去5年連続で営業していること
- 農業に關する事業に前回の申請時から継続して営業していること
- 法人設立後5年の実績があること（または個人経営などで同等の実績があること）
- 金融機関からの融資は当期要件より多い額であること

※1 譲渡株のない資本とは、譲渡株を付けない資本です。

※2 譲渡株のない資本とは、譲渡株を付けない資本です。譲渡株を付けない資本は、譲渡株を付けない資本です。

※3 申請内容内での事業一貫性に資するもの（アグリシードファンド） 為めの条件（全て該当）

※4 申請内容内でも事業一貫性に資するものの条件（全て該当）

※5 申請内容内での事業一貫性に資するもの（アグリシードファンド） 為めの条件（全て該当）

※6 申請内容内でも事業一貫性に資するものの条件（全て該当）

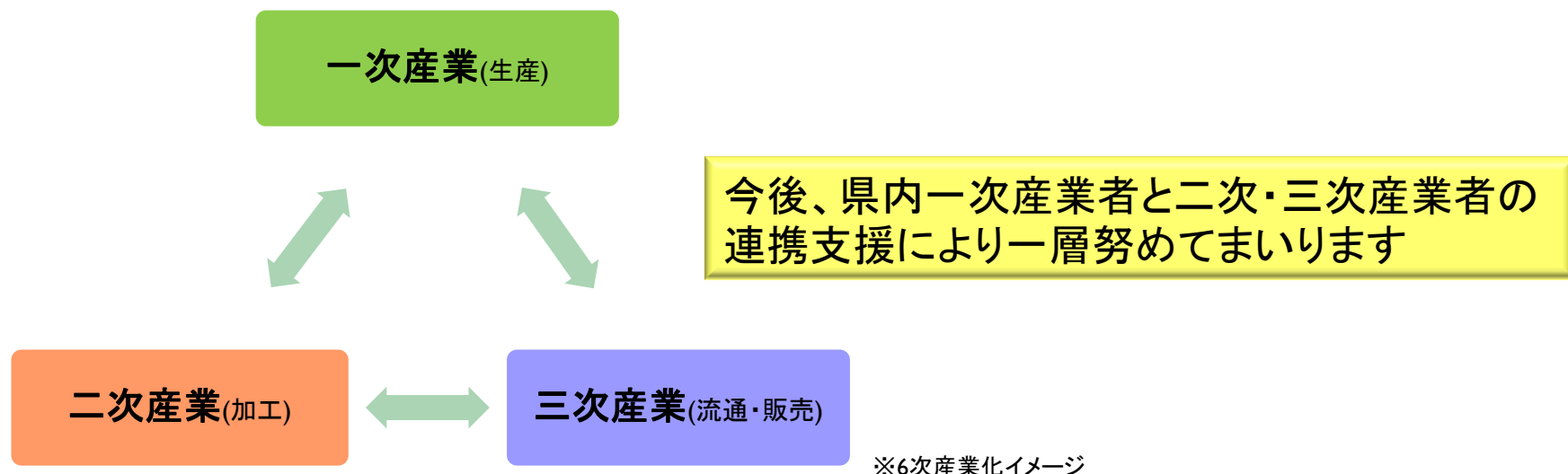
## 農業法人向け資本供与②

6次産業化を支援する“6次産業化ファンド”については、平成25年4月にJA全国グループによる広域ファンドとしての「JA・6次化ファンド」が設立されました。

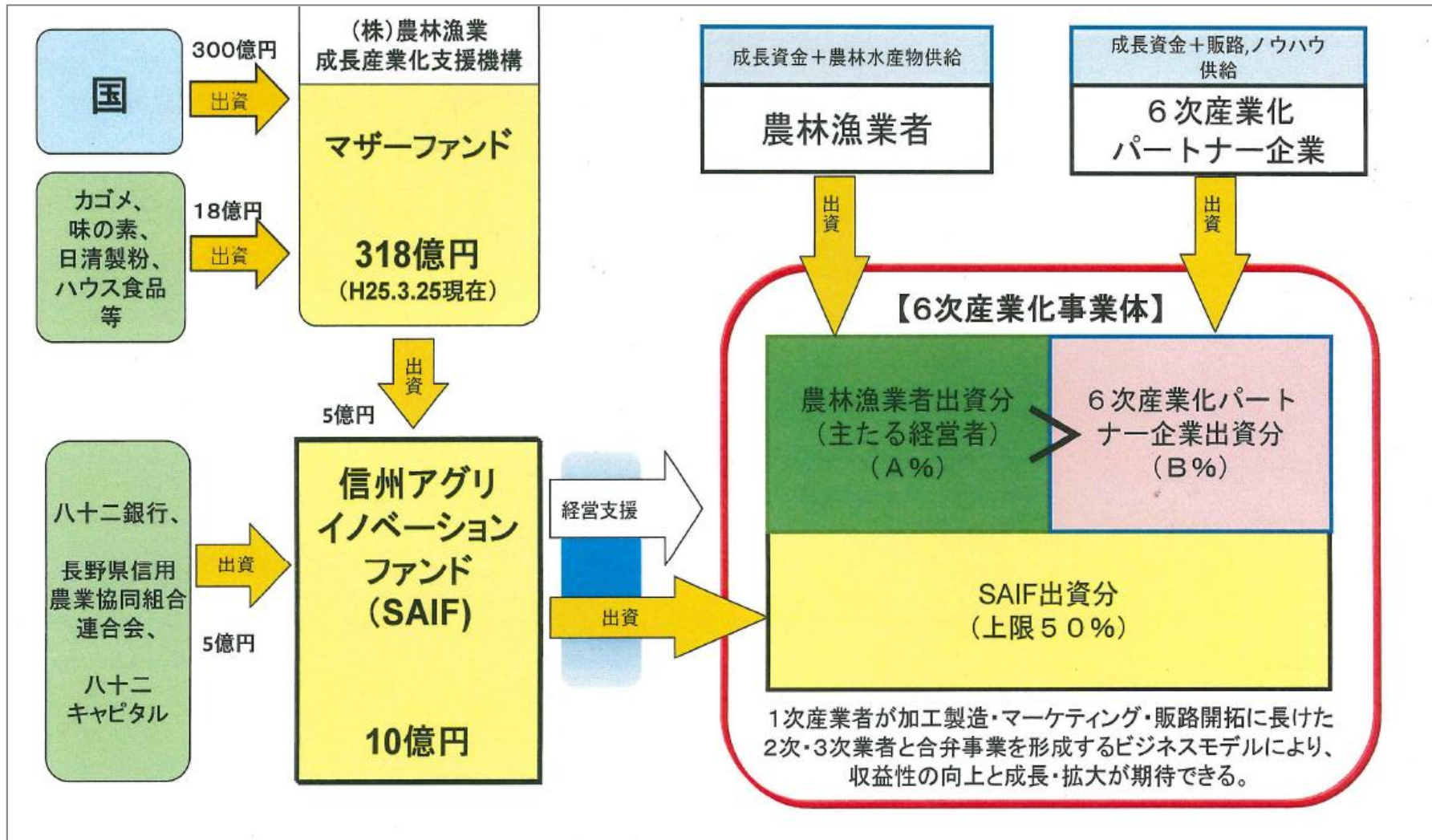
### 【長野県JAバンクとしての取組】

県内金融機関等との地域ファンドである

「信州アグリノベーションファンド(略称=SAIF)」の設立をいたしました。(平成25年7月1日～)

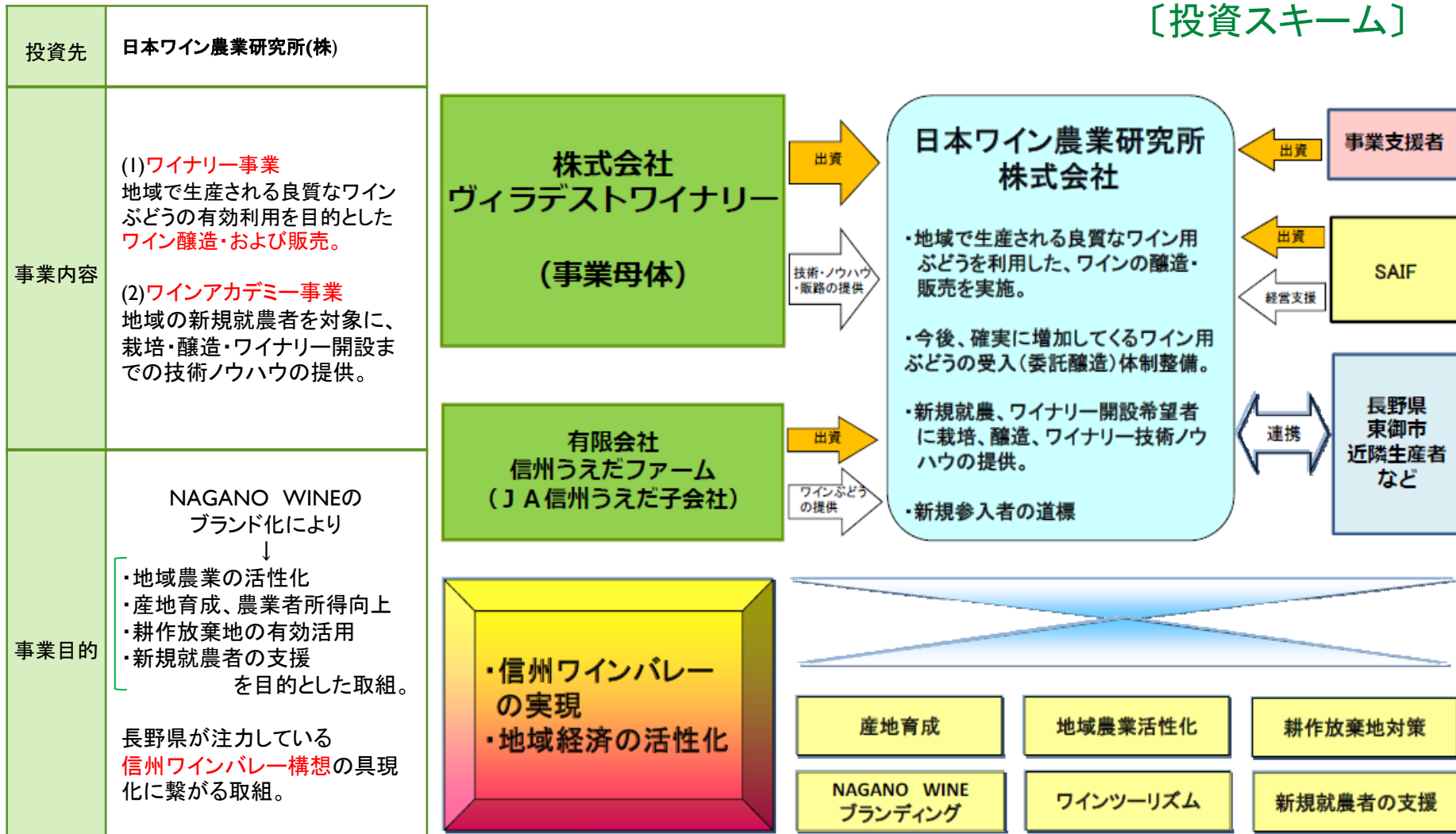


## 【信州アグリイノベーションファンド概念図】



# 【信州アグリノベーションファンド 第1号案件】 平成26年5月12日

## 〔投資スキーム〕



## Ⅲ.農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農村漁村等地域育成への貢献

- ◇長野県JAバンクでは地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

被災者・生産資材高騰等への支援資金の対応

新規就農者に対する支援

その他地域密着への取組み



## 被災者・生産資材高騰等への支援資金①

◇長野県JAバンクでは、生産資材の価格高騰や農産物価格の下落を含む災害への対策資金の創設や、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位:件, 百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付 実行金額
JAバンク利子助成事業	長野県JAバンク	長期にわたる農畜産物の消費・価格低迷等が、農家経営に多大な影響を与えている現状を踏まえ、農家のコスト負担を軽減することを目的に、JAが農家・組合員に融資している農業運転資金に対し、長野県信連が実施体となり利子助成を実施しました。	1,223	26
JAアグリマイティ(災害緊急資金)の対応	長野県JAバンク	自然災害等(農畜産物の価格下落及び資材価格の高騰を含む)の発生に際して緊急性を要する復旧や経営維持にかかる資金を対応しました。	9	13
平成26年2月雪害対策	長野県JAバンク	平成26年2月の大雪で雪害被害を受けた農家・組合員に対し対策資金を創設し、復興に向けた資金対応をしました。	354	980
平成26年産米価下落特別緊急対策 保証助成事業	長野県JAバンク	平成26年産米価格下落において影響を受けた組合員に対して貸し付けた対象資金に対して農業信用基金協会の協会保証助成を行いました。	9	13
平成26年度産米緊急特別対策利子補給	長野県JAバンク	平成26年産米価格下落において影響を受けた組合員に対して貸し付けた資金をJAバンク利子補給の対象としました。	9	13
素牛価格高騰に対する資金対応	JAみなみ信州	JAみなみ信州では、素牛価格高騰に対する対策として、飯田市が原資の一部を負担する中、資金対応を行いました。	7	16

## 被災者・生産資材高騰等への支援資金②

(単位: 件, 百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付 実行金額
平成26年6月降雹等被害対策資金	JA松本ハイランド	平成26年6月に松本市南部地区(笹賀、今井)の降雹で農作物に被害を受けた組合員に対し低利の資金を対応しました。	15	44
きのご特別対策資金	JAちくま	きのご農家向けに低価格対策として低金利の貸付資金を創設してありますが取扱期間を1年間延長しました。	現在未発動	
平成26年きのご生産運転資金	JA須高	きのご販売価格の低迷による夏場の運転資金不足に対し、きのご農家の生産維持継続を図るための低利資金を対応しました。	7	13
平成26年度きのご夏季運転資金	JA中野市	きのご販売価格の低迷により困窮する夏場の運転資金を低利により対応しました。	86	863
山ノ内町がんばる農業応援資金	JA志賀高原	農業者が経営の近代化・安定化・経営の規模拡大・効率化及び災害に伴う経営復興を計るとき、また、後継者及び新規就農者が農業を営む上で必要な資金を融資します。町とJA(営農改善費)からの利子助成により低利な金利です。	23	57

## 被災者・生産資材高騰等への支援資金③

(単位:件,百万円)

取組事例	JA名	内 容	件数	貸付 実行金額
菌茸季節対策資金	JA志賀高原	農産物輸入自由化・競合産地の増加等により菌茸販売価格は低迷し、加えて季節的に販売価格差が顕著に現われており、経営に重要な影響があります。 季節的に資金の枯渇するときの対応で、果樹農家の前渡金制度の代わりとなる資金であり、菌茸生産農家の経営安定を図りました。	18	49
きのこ価格低下期間の 運転資金の対応	JA北信州みゆき	JA北信州みゆきでは、きのこ価格低迷により困窮する生産者に対し、きのこ生産における必要な運転資金を当JA特別会計より利子補給する低利資金を対応しました。	10	32
合計			1,770	2,119

# 新規就農者に対する支援

- ◇長野県JAバンクでは、新規就農者の農業経営と生活をサポートするため、公庫資金の青年等就農資金を始めとした様々な商品を取り扱っています。

## 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位:件, 百万円)

	平成26年度		平成27年3月末残高
	実行件数	実行金額	
青年等就農資金	2	7	7
就農支援資金 <small>(平成26年12月 取扱終了)</small>	13	41	413
JA新規就農応援資金	10	13	12
農業経営開始資金	0	0	1
その他	0	0	8
<b>合計</b>	<b>25</b>	<b>61</b>	<b>441</b>

さらに、長野県JAバンクでは

**JAバンク新規就農応援事業に取り組みました。**

※農業振興等に貢献するために設立された

「JAバンクアグリ・エコサポート基金」が

新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を行う取り組み。

【平成26年度実績】

**→県下31件, 349万円**



©ちよリス

## その他地域密着への取組み①

◇長野県JAバンクは、総合事業を活かした商品を通じて、地産地消に取り組んでいます。

### 【長野県JAバンクによる取組】

懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローふうど) 【長野県JAバンク 秋冬キャンペーン2014】	
経緯	「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取組みとして、平成26年度県下統一秋冬キャンペーンにおいて、平成21年度から長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローふうど)を発売しました。
内容	キャンペーン期間:平成26年10月1日～12月30日 ・預入期間1年以上のスーパー定期貯金, 大口定期貯金 ・20万円を一口として抽選券を付与し、抽選により「信州の食」および「東北のうめえもの」をプレゼントします。 ・期間中ご契約いただいた方に、「ちょきんぎょ手袋 & リバーシブルマフラー」をプレゼントします。 ・「信州の食」または「東北の「うめえもの」に当選されなかった方の中から抽選で400名様に「トシ・ヨロイツカ ヴィラデスト」コラボスイーツ「えごま」パウンドケーキをプレゼントいたします。
成果	県下404億円のお申し込み実績があり好評であるため、東北への支援も含め、今後も継続していく予定です。
今後の予定	アンケート調査でいただいたご意見等を反映し、さらに身近にJAバンク、JAらしさを感じていただける「長野県の農・食」をキーワードにした商品として、引き続き実施していく予定です。



## その他地域密着への取組み②

長野県JAバンク食農教育応援事業（教材本贈呈事業）	
経緯	「子どもたちの農業に対する理解の深耕をはかり、日本の農業のファン層を拡大すること、および地域の発展に貢献すること」を目的として、平成20年度から「JAバンク食農教育応援事業」を創設し、県内の子供たちに向けた取組を実施しています。
内容	平成20年度から贈呈しているもので、平成27年度は、県内374の小学校（公立368校、私立4校、国立大学法人附属小学校2校、配布希望があった特別支援学校8校）の新5年生分として、約22,500セットを、また特別支援教育版として約200セットを、最寄りのJA本支店から贈呈しました。 平成27年度は教材本の内容をより具体的に理解できるように新たにDVDを作成し、各学校へ配布させていただきました。
成果	県内全小学校（公立368校、私立4校、国立大学法人附属小学校2校）及び特別支援学校（配布希望があった8校）に22,636部を贈呈しました。 贈呈した県内小学校の子どもたちからいただいた感想文においても、食や農業に対する理解・関心が深まったとの感想が多く寄せられております。
今後の予定	引き続き、子どもたちへの農業体験学習や地元食材を使った料理教室等の食育活動を展開し、「食と農の大切さ」を伝えていきます。

【補助教材表紙】



【補助DVD】



## その他地域密着への取組み③

### 【長野県下JAによる取組】

農業生産基盤強化助成事業（JA信州うえだ）	
経緯	地域農業振興と強い農業づくりを目指し、農業生産基盤の「維持・拡大」と今後の生産基盤の「創造・醸成」の両輪を進めるため、多品目栽培の実現と農家経営の効率化・省力化を図り、農畜産物の増収および品質向上につなげることを目的としています。
内容	農業生産の拡充と品質向上等を目指す事業及び強い農業づくりの支援を行っています。
成果	平成22年度～26年度 5ヶ年の助成事業実績 受益農家戸数 941件 全般296件、米穀35件、野菜109件、きのこ37件、果実391件、畜産4件、花き69件 事業費 295,348千円 助成額 58,200千円 地域農業振興に係る経営支援、素畜導入支援 助成額 10,981千円
今後の予定	農業生産基盤強化助成事業は継続していきます。事業内容は年度ごと選定し、目的にあった助成とします。

## その他地域密着への取組み④

### 【長野県下JAによる取組】

農業振興、生産拡大補助事業（JA信州諏訪）	
経緯	資材の高騰や農畜産物価格の低迷による農業経営の危機に対処するため、力強い農業づくりを目標とする「第3期長期構想21・前期中期3カ年計画」を実現するために行う農業振興・生産拡大を目的としたJA補助事業です。
内容	各品目に応じた施設整備に対する補助や、生産拡大に向けた取組の支援を行っています。
成果	平成26年度（2014）補助事業実績 対象受益戸数 658件 （全品目共通103件、米穀15件、野菜花き共通465件、きのこ1件、果樹34件、畜産40件） 事業費実績118,922千円、補助金実績 31,166千円
今後の予定	補助事業は2015年度も同様に実施していますが、2015年度をもって終了になる予定です。農業振興、生産拡大を図るためには補助事業施策を継続したいが、基金の財源確保が課題となっております。



# 長野県JAバンクの取組み(平成27年度以降 一部)

JAバンク利子補給	
内容	従来のJAバンク利子助成に変わり、借入時の金利負担を補給によって軽減する取組です。 対象資金 ・農業近代化資金 ・JA農機ハウスローン ・JAアグリマイティーローンなど。
農機具等リース応援事業(アグリシードリース)	
内容	規模拡大等によりコスト低減を図る農業者等に対して、農機具等導入にかかるリース料の一部助成をし、その取組を後押しする事業です。
長野県JAグループ「いきいき信州！農産加工品展示商談会」	
内容	「長野県の食の魅力・思いを発信する場」、「バイヤーの皆様から市場の声を聞く場」として長野県JAグループとしては初となる主催商談会の開催をいたします。 (平成27年11月12日開催)
JA・JFグループ 北陸信州 食の魅力発掘商談会	
内容	北陸3県(富山・石川・福井)および長野県の農産物・海産物・山菜とその加工品等を、生産者が直接出品する商談会に平成27年7月より事務局として参加しています。 (平成28年1月21日開催)
新規就農応援事業の実施	
内容	平成27年度より現行の <b>新規就農研修支援事業</b> の拡充に加え、 <b>新規就農者営農支援事業</b> が新規に創設され、新規就農者個人も助成対象として取扱います。



©ちょリス

今後も長野県JAバンクはさまざまな取組を通じ、  
長野県の農業振興に努めてまいります。



長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です



©ちょリス

